

令和5年度
事業報告

学校法人白藤学園

令和5年度 事業報告

1. 学校・園の概要

(令和6年3月31日現在)

設置する学校	奈良保育学院	奈良女子高等学校		奈良保育学院 附属幼稚園	白藤学園おお みやこども園	白藤学園おお みや保育園
設置課程 学科	教育保育専門 保育科	全日制 普通科	通信制 普通科			
修業年数	2年	3年	3年以上 (単位制)	3歳から3年 4歳から2年 5歳から1年	3歳から3年 4歳から2年 5歳から1年	
学則定員	100名	800名	100名	90名	90名	200名
児童・生徒数	1年 43名 2年 53名 総数 96名	1年 104名 2年 102名 3年 104名 総数 310名	1年 26名 2年 37名 3年 30名 総数 96名	3歳児 22名 4歳児 27名 5歳児 30名 総数 79名	3歳児 23名 (内2号8名) 4歳児 14名 (内2号6名) 5歳児 24名 (内2号4名) 総数 61名 (内2号18名)	0歳児 17名 1歳児 24名 2歳児 36名 3歳児 32名 4歳児 40名 5歳児 35名 総数 184名
教職員数 (理事長除く 常勤)	教員 7名 職員 2名	教員 29名 (パート含む) 職員 3名	教員 4名 職員 1名	教員 8名 職員 2名	保育教諭 7名 職員 2名	保育教諭 23名 職員 0名
役員・評議員	理事5名、監事2名、評議員11名					

2. 事業の概要

【学園】

- ・学園創立130周年を記念し、各校・園において公開授業・保育等の事業を実施するとともに、図書室の改修に併せて図書の充実を図った。
- ・令和5年4月から「おおみやこども園」を開設したことにより「保育学園附属幼稚園」「おおみや保育園」と合わせて幼児教育・保育3施設が揃い、連携の強化に努めた。

【保育学院】

- ・卒業生全員が保育士資格を取得（幼稚園教諭免許は98%）し、就職希望者全員が就職を達成した。
- ・本年度から授業の一環として、本学園の「幼稚園」「こども園」「保育園」において子どもたちと関わりながら実習を行い、実践的な保育技術等を身に付けることができた。
- ・教員の学会や研修会への参加、研究論文作成などを積極的に支援するとともに、自己評価シートを作成し所属長と面談するなど、教員の資質・能力の向上に努めた。
- ・奈良県委託訓練事業（長期高度人材育成コース）の委託法人に選定され、3名を受け入れた。（うち1名が家庭の事情により、退学）
- ・ホームページのリニューアル等広報活動の充実に努め、積極的な学生募集活動を行った。

【高等学校】

- ・「次世代教育探究プロジェクト」の第2段階として「個別最適化」「協働的な学び」をキーワードに「ICT教育」「探究的な学習」「産学・地域連携」の充実・拡大に取り組んだ。
- ・図書室の改修においては、幼児教育（絵本）と探究的な学習に特色化した整備を行い、大型モニターも設置した。
- ・進路については、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」を活用して志望大学に合格する生徒が増えるなど、特に、特進コース以外の生徒においても難関大学入試に向けて学習する生徒が増え、良い流れができてきた。
- ・コース活動において、パテシエール選択では、2年生が「全国和菓子甲子園」決勝大会に、また、3年生が「スイーツ甲子園」の西日本大会に出場することができた。
- ・部活動においても、卓球部が全国大会に出場するなど、活発な活動を行った。

（就学前教育保育）

共通理念「たっぷり遊び じっくり学び ともにたかめあう」

【幼稚園】

- ・畑で苗植えから収穫まで行うなどの「自然教育」「食育」やICT機器を活用した教育の充実など、園児の豊かな感性と伸び伸びと表現する力を引き出す教育内容の充実に努めた。
- ・コロナ禍での制限がなくなり、運動会や生活発表会を全学年合同で実施し、また、いちご狩り、敬老参観も実施することができた。
- ・能登半島地震の支援活動として、街頭募金活動を行った。
- ・園児募集にも繋げるため「子育てふれあいサロン『白藤アカデミー』」を月1回実施するなど地域との連携をより一層充実するとともに、1月から1歳児未就園児クラスの新設、3月には子育て広場を開設した。

【こども園】

- ・令和5年4月より奈良市から公立幼稚園の移管を受け、幼児教育・保育を総合的に提供する施設として「公私連携幼保連携型認定こども園白藤学園おおみやこども園」を開設した。
- ・10月から園舎改修工事を実施（令和6年度までの継続事業）し、令和6年度からは給食の自園調理による提供ができるようになった。
- ・園舎改修工事中は、子ども達や保護者の安全を確保しながら保育を進めるとともに、学園の施設を利用しながら充実した園行事や保育を行うことができた。

【保育園】

- ・「からだ育て」「アート」「食育」の3つのテーマに沿って保育を進めた。このことを通じて、体幹を育てることに繋がったり、自分の作品を作ったときの思いを保護者に一生懸命説明したり、食材の野菜を育てる中で五感を使って親しむことができるようになったりした。
- ・初めて公開保育を実施したなかで、保育士が自ら保育計画を立て、話し合いを重ねることで保育力を高めるきっかけとなった。
- ・保育学院の「ならほフェスタ」に幼稚園、こども園、保育園が参画したことにより、白藤学園の幼児教育・保育の一体感が高まった。